

国保料引き上げ やめよ

一般会計繰入金の増額など予算措置を



「国保よくする会」と 共産党が緊急申し入れ

高すぎる国保料の引き下げを求める累計29万筆の署名を集めてきた「国保をよくする福岡市の会」は市長の公約違反に抗議し、引き下げを求める緊急要請を行いました。日本共産党市議団も同席しました。

予算を1億4千万円削って国保料を引き上げるとの説明だったけど、市役所1階の改装に同じ1億4千万円かけるって？やるのが違うでしょ！

日本共産党



協議会（市長の諮問機関）が

「引き上げ」の市長案を否決

福岡市の高島市長は2012年度の一人あたり国民健康保険料を1168円（介護分含む）引き上げる方針を市国保運営協議会に示しましたが、反対多数で否決され、「据え置き（介護分除く）」を妥当とする答申を市長に提出しました（2月3日）。

同協議会では、被保険者（加入者）代表の委員らが「毎年上がっていくのでは納得できない」「昨年は公約通り引き下げて今年は上げ

「医療は社会保障」の観点で

国保料を引き下げするためには一般会計からの繰入を行う必要があります。ところが一部の人や新聞が「税金投入は加入者以外にも負担させるので不公平」という主張をしています。はたしてそうでしょうか。

そもそも国保料が高すぎるの

るといっては場当たりの「だ」などと発言し、引き上げ案に反対。市長与党の自民、公明の市議も同調しました。市長の諮問機関が市長案を否決したことは画期的。「福岡市の国保料は高すぎて払えない」の世論と運動が市政を動かしています。



は、国と自治体の公的責任が削られ続けてきたからです。引き下げのために一般会計から繰り入れるのは、国民誰もが医療を受ける権利を保障する「社会保障」の観点から当然のこと——と日本共産党は主張しています。